

# ひめゆり 通信

第149号

2017年1月13日号  
<http://hozanji-wel.org/>

## 愛染寮創立70周年特別号

- 理事長あいさつ ..... 1
- 奉納太鼓 ..... 2
- 社会福祉法人宝山寺福祉事業団 成り立ちとその歩み ..... 3
- 各施設概要 ..... 6
- 「歴史を繋ぐ」 児童施設から ..... 7
- 「歴史を繋ぐ」 高齢者施設から ..... 18
- 愛染寮の子どもたち「10年後の私」にひとこと ..... 26
- 法人概要図 ..... 27
- 理事長が密教教化賞を受賞 ..... 28

社会福祉法人 宝山寺福祉事業団

〒630-0257 奈良県生駒市元町2-14-8 桃李館内  
TEL:0743-74-1172 / FAX:0743-74-1911



愛染寮創立の地 滝寺

## 創立70周年におもむ

宝山寺福祉事業団 理事長辻 村 泰 範

子供の頃、今はもうその姿を見ることはできないが、滝寺の大玄関に宝山寺愛染寮と墨書され70年を数えた。折しも社会福祉法の大きな改正にともなう社会福祉法人の大改革の年と重なった。残念なことにその歴史的由緒を示す看板もいつの頃か所在が不明になってしまった。

法律の改正にともなう改革であるから我々は否応なくそれに従わねばならない。時代が大きくなるとなると変化し始めたということだ。これまで、変革だ、改革だ、何度もペンを走らせたがこの社会福祉法人制度改革は日本に存在する全ての社会福祉法人に求められるものであるから、これまでとはちょっと違う。法人の構造や体制の見直しが要求されている。

中には適当にお茶を濁して波をやり過ごそうとする法人もあるかもしれないが、これを機会に身体を鍛え直し、下着も上着も着替えて出直そうと意欲を沸き立たせる法人もあるだろう。我々は後者でなければならぬ。

15名の定員の愛染寮からスタートした我々の仕事は、求められるまま増殖し種別も規模も最初の頃とは比較にならない程大きくなった。社会や地域のニーズに応じてきた結果だと胸を張りたい。とは言うものの、これ以上大きくすべきではないという意見も幾度か役員会で耳にしている。

あたかもそこに大きなビジネスチャンスをつけたかのように、参入している人達もないとはいえない。法人制度改革を強く突きつけられた所以でもある。にもかかわらず私達がこうして前に向いているのは、そこに私達を必要としている人達がいるからである。時代の変化とともに新しい課題が目前に現れるからである。それは福祉に携わる人々の宿命であると言えるのかもしれない。

大きくなること膨張することを目的としているのではない、体力を鍛え直し時代の要求に応える目と耳を今まで以上に真剣に敏感に研ぎ澄まさせねばならないと強く思い返すのである。

# 幸せを創る

宝山寺福祉事業団総裁  
大本山宝山寺貫主

大矢実圓

私は少年時代、現在宝山寺福祉事業団理事長、辻村泰範僧正のご尊父であった辻村泰圓師（初代理事長）から、戦後の痛ましい苦労話を聴いております。東京、大阪、名古屋、神戸が大空襲をうけ焦土化した街に家族や家を失った子ども達があふれました。広島、長崎に原爆が投下され終戦を迎えますが、そんな子ども達の救済のために、国や行政から神社仏閣に要請がありました。混乱する社会の中終戦直後の昭和21年、当時真言律宗管長であり宝山寺住職であった駒岡乗圓和上は宝山寺社会事業部を立ち上げ、当時高野山にいた辻村泰圓師を呼び戻し滝寺に宝山寺愛染寮を創設しました。

真言律宗の宗祖である興正菩薩尊は、鎌倉時代に奈良仏教を復興し衆生済度を実践した日本の福祉事業の先駆者ですが、その流れを脈々と受け継ぎ、愛染寮創立70周年を迎えることができました。現在、宝山寺福祉事業団は児童、高齢者の施設を20数所運営しておりますが、福祉の精神を大切に「幸せを創る」施策を、法人職員が一丸となり今後も実践して参ります。必要とされるすべての人々に仏心をこめて。

# 響け、宝山寺の空の下



童笑男子の心意気！

11月12日朝、雲ひとつない青空—私達愛染寮のみんなは宝山寺にいました。現「児童養護施設愛染寮」が緊急援護法による生活困窮者生活援護施設として、今の法人本部の在る滝寺境内に創設されたのが昭和21年10月10日、開寮式が同年の11月20日であったことを思うと、この日はまさにちょうど70年が経とうとしていたことになりました。

今や定員は51名、長きにわたり地域の皆様、関係者の皆様に支えられての今日があることは、言うまでもございません。原点でもある宝山寺で記念行事を！

想いは高まり14年ぶりのBARA—薔薇の再結成となりました。こりゃあ相当気合い入れなければ毎週練習している子ども達にかなわないぞという危機感から、9月になって本格的に取り組んだ職員達です。しかし、勤続年数もバラバラ、太鼓への思い入れもバラバラ、70周年への思い入れもバラバラな職員達は、実は今だから言いますが、かなり温度差がありました。とは言え、10月も後半を過ぎ、リハーサルの際には皆の目の色は明らかに違って来たのです。初めはバラバラでもいい、やりながらその過程で一つになって行くんだ：11月12日、答えは出ました。

童笑の子ども達の演技も：そしてその結果がこれからも繋がるという希望の笑顔が、皆を満たしていました。

「楽しきわが家」モチーフは終始一

# 私たちの太鼓の音は一つ 創設70周年記念奉納太鼓

貫これでした。野点、慶讃法要、そして太鼓の流れる中で強く強くそこに込めた思いを、私達はぶつけました。花を添えてくださった魂源堂太鼓道場の皆さん、15年の長きにわたり童笑を指導してくださっている山口さん、皆々様方、全ての方々に感謝以外ありません。

場所を移してのパーティー会場あすなる館は、これでもかというくらい人が入り、とても幸せな時間が流れました。最後にお願いです。「愛染寮の歌」は、その魂と共に未来永劫歌い継いで行ってください。

(文・寮長 末松保喜)



大矢管長様ご挨拶



金剛殿内の慶讃法要



我ら BARA一薔薇、理事長さんの大太鼓が合図！



大人も子ども一緒に1, 2、フィニッシュ！決まったぜ！



100人入った、あすなる館での大パーティー



野点の様子



魂源堂太鼓道場さんの大迫力！



# 社会福祉法人 宝山寺福祉事業団 成り立ちとその歩み

1957年 昭和32年	1955年 昭和30年	1954年 昭和29年	1953年 昭和28年	1952年 昭和27年	1949年 昭和24年	1946年 昭和21年
第二代理事長に松本実道宝山寺住職が就任。 土村泰圓は常務理事に就任。	南都寮（児童養護施設サテライト事業）を元興寺に創設。 愛染寮中学校卒業生のアフターケア施設（～平成2年）。	いこま保育園創設（当初定員80名）。 生駒町（現在生駒市）初の保育所。 当初は公設民営（現在は法人の設置経営）。 昭和32年いこま保育園通園バス運行開始（～平成15年）。 昭和61年園舎全面建て替え（定員250名）。 平成18年病後児保育室開設。	法人機関紙ひめゆり通信創刊。 （途中数年の休刊を経て現在に至る）。	社会福祉法人宝山寺福祉事業団設立認可。 初代理事長に辻村泰圓が就任。	宝山寺門前に宝山寺児童遊園（児童厚生施設）創設。	宝山寺社会事業部宝山寺愛染寮を滝寺に創設。 緊急援護法による生活困窮者生活援護施設（当初定員15名）。 その後必要建物群を整備。 昭和26年定員60名に増員。

2003年 平成15年	2002年 平成14年	2001年 平成13年	2000年 平成12年	1999年 平成11年	1996年 平成8年	1992年 平成4年	1990年 平成2年	1986年 昭和61年
梅寿荘旧生駒市営国民宿舎跡地に老朽移転改築。 特養の準個室、ユニット化（定員80名）。 新たに養護老人ホーム（定員20名）併設。	ニッセイ財団助成事業「ちょボラねっといこま」開始。 高齢社会先駆的事業に対する助成（3カ年）。 「ちょボラで築くみんなが主役のまちづくり」事業開始。	総合施設やすらぎの杜延寿創立。特養（定員84名）・ケアハウス（定員30名）、ショート（定員16名）、 デイサービス、訪問入浴、配食サービス、居宅介護支援等。	七町広域組合立老人総合福祉施設あくなみ苑経営受託開始。 特養（定員50名）。 ケアハウス（定員15名）。デイサービス、居宅介護支援。	第二代松本実道理事長・宝山寺住職遷化。大矢実圓宝山寺住職・法人総裁に就任。第三代理事長に辻村泰圓就任。	生駒市デイセンター寿楽事業開始。 生駒市南公民館の用途変更（老人デイサービスセンター）、指定管理。	愛染寮創立50周年。記念モニュメント愛染寮の歌碑設置。	日本スリランカ仏教福祉協会設立、事務局を本部に置く。	前田記念福祉基金創設。前田スエ氏の遺贈金を活用。 公益事業福祉基金として現在に至る。
							法人本部桃李館を整備。 梅寿荘デイセンターと愛染寮男子棟を合築整備。 平成3年在宅介護支援センター受託事業開始。 平成3年2級ホームヘルパー養成事業開始。 同年ヘルパーステーションはあとぼーと梅寿荘事業開始。 平成8年訪問入浴サービス事業開始。	

1982年 昭和57年	1978年 昭和53年	1977年 昭和52年	1974年 昭和49年	1972年 昭和47年	1971年 昭和46年	1967年 昭和42年	1961年 昭和36年	1960年 昭和35年	
法人認可30周年。記念の日時計を設置。	あすかの保育園創設（当初定員60名）。現在（定員90名）。	平城児童センター・平城野外活動研修センター創設。 法人常務理事辻村泰圓急逝（米国視察の帰途機上にて）。 常務理事に辻村泰範就任。	障害児福祉センター奈良仔鹿園創設。 知的障害児通園（当初定員30名）・療育相談等の複合施設。 短期療育母子宿泊訓練の試み開始。 平成7年療育訓練等を増築（定員57名）。 平成21年児童デイサービスはんび開始。	愛染寮海への里帰り事業開始（ひめゆり募金事業）。	特別養護老人ホーム梅寿荘創設（当初定員70名）。 梅寿荘診療所併設（現在休診）。 昭和49年梅寿荘増築、定員110名。屋上に、みかの原カントリークラブ37番ホール設置。 昭和50年在宅入浴サービス事業（在宅老人機能回復訓練事業）開始。 昭和63年ミニデイサービスに吸収。 昭和53年短期養護事業開始。	いこま乳児保育園創設（当初定員60名）。 通園バス運行開始。平成26年園舎老朽改築事業として全面建て替え（定員75名）。	いこま乳児院創設（当初定員15名）。昭和60年職員宿舎を新築。 乳児院は平成23年「すぎのこ」に移転（定員25名）。	児童養護施設愛染寮にボーイスカウト生駒市第1団創設。	国有地払い下げを受け、奈良市に土地を提供。 昭和45年極楽坊保育園に改称。 昭和54年全面改築（定員300名）。



初代理事長  
辻村 泰圓



第2代理事長  
松本 実道

2016年 平成28年	2014年 平成26年	2012年 平成24年	2011年 平成23年	2009年 平成21年	2006年 平成18年	2004年 平成16年	
愛染寮創設70周年。	いこま乳児保育園老朽改築事業で全面建て替え（定員75名）。	旧乳児院建物を改修、児童支援センターあすなる移転。	奈良市の指定管理委託児童発達支援「いっほ」事業開始。	新「すぎのこ」（乳児院と児童養護の複合施設）完成。 いこま乳児院、児童養護施設老朽耐震化事業による建て替え。	総合支援センターあずさ創設。 地域小規模児童養護施設（愛染寮あずさ定員6名）。 地域包括支援センター、ヘルパーステーション。 児童デイサービスあすなるあずさ、生活支援センターあすなる。	奈良県発達障害支援センター「でいあー」受託事業開始。 発達障害支援法施行にともない奈良仔鹿園に併設。 桃李館で生駒市梅寿荘地域包括支援センター受託事業開始。 あずさ創設に伴い事業所移転。	愛染寮自身全室またの館を売却して児童デイサービス（ことも支援センターあすなる）事業開始（平成24年）。 平成17年児童デイサービス「オープンスペースあすなる」2ヶ所増設。

# 愛染寮

**創設年月日** 昭和21年10月10日

**所在地** 当時：生駒市谷田1754番地  
現在：生駒市元町2丁目14-8

**歴代施設長**

辻村 泰圓（昭和21年10月～）  
辻村 峯子（昭和30年 1月～）  
宮本 隆雄（昭和53年 6月～）  
末松 保喜（平成14年 4月～）

**事業所**

愛染寮（本体施設）：定員45名  
地域小規模児童養護施設  
愛染寮あずさ：定員6名

**建物の変遷**

**滝寺庫裏**

- 昭和25年12月 小鳩荘増設
- 昭和26年 6月 若鷹荘増設
- 昭和27年 1月 食堂・炊事場棟新築
- 昭和30年 1月 事務所増設
- 昭和30年11月 南都寮開設
- 昭和34年 4月 杉の子荘落成
- 昭和35年12月 あすなる館落成
- 昭和48年 6月 杉の子荘全面改築
- 昭和55年 8月 滝寺キャンプ場開設
- 平成 2年 6月 桃李館落成
- 平成21年 3月 愛染寮あずさ竣工
- 平成23年 4月 すぎのこ竣工

**職員教**

正規職員：22名、契約職員：5名  
パート職員：5名、嘱託医：1名

**職 種**

寮長・保育士（主任保育士含む）・児童指導員  
家庭支援専門相談員・相談員・心理相談員  
栄養士・調理師・調理員・嘱託医

**地域支援事業**

**ボーイスカウト活動**

奈良県連盟きたやまと地区生駒第一団：地域への資源や設備の提供、地域の児童との活動。ボランティアの受け入れや、地元自治会活動への参加、協力。



食堂こもれびで美味しいお寿司、いただきます！



餃子パーティーだ！



ある、休日の風景…



愛染寮 すぎのこ



愛染寮 桃李館

戦後70年、児童養護施設の果たした役割は大きいが、これから本当に必要とされる存在にはたしてなりえるのか？  
今、その真価が問われている。それに応えて行くことが私達の使命であるし、この愛染寮はとにかく世の子ども達の最後の最後の一歩で有り続けたい。言いたい人には言わせておく。が、決して本分は忘れず全うすべし。  
「楽しきわが家、愛染寮」で有り続けることをひたすら願ひ、そのための尽力を惜しまない。



末松 保喜

施設の未来を拓く、施設長の思い展望



あすなる館で自治会してます

# いこま乳児院

**創設年月日** 昭和42年10月1日

**所在地** 生駒市元町2-14-8 すぎのこ

**歴代施設長**  
辻村 泰圓 (昭和42年10月～)  
榊原 朝雄 (昭和53年 6月～)  
辻村 峯子 (昭和56年 1月～)  
西田 修二 (平成16年 4月～)  
辻村万里子 (平成20年 4月～)

**事業所** 乳児院：定員25名

### 建物の変遷

- 昭和42年10月 1日 いこま乳児院設立  
(現こども支援センターあすなろ)
- 昭和60年 3月 8日 職員宿舍新築
- 平成23年 4月 1日 すぎのこ新築。  
3階にいこま乳児院移転
- 平成28年 8月 1日 職員宿舍改修  
(小規模グループケア・  
母子支援室等として利用)

### 職員数

正規職員：21名、契約職員：4名

### 職種

院長・保育士・看護師・管理栄養士・調理師等・  
事務員・臨床心理士・嘱託医

### 地域支援事業

いこま乳児保育園が行っている子育て支援事業に協力し、月2回看護師等を派遣し相談支援を行っている。



いこま乳児院玄関



「食べるの大好き」お料理のおはなし



絵本に見入る乳児さん



やさしいこども

人生の基盤となる乳幼児期を家庭で暮らせない子どもたちの為に、私たちは一人ひとりを大切に見守り育んでいくことを使命としています。  
必要とされる限り、どのような子でも、生まれてきて良かったと思えるような人生のスタートを保障できる居場所であることを望みます。



辻村 万里子

施設の未来を拓く、施設長の思い展望



3階いこま乳児院、1・2階愛染寮

創設年月日 昭和24年4月22日

所在地 奈良市紀寺町829

歴代施設長  
辻村 泰圓 (昭和24年9月～)  
辻村 峯子 (昭和53年6月～)  
中山紀代子 (昭和54年4月～)  
西野 寛 (平成14年4月～)  
松村 喜子 (平成22年4月～)

事業所 保育所：定員300名

### 建物の変遷

昭和24年 元興寺境内  
昭和35年 紀寺町に移転 木造園舎  
昭和44年 現在の園舎

### 職員数

正規職員：32名、契約職員：9名  
パート職員：8名

### 職種

園長・保育士・栄養士・調理師  
事務員

### 地域支援事業

園庭解放 (にこにこ広場)



元興寺へのお詣り (お花まつり)



作品展



うたどうかい



おじいちゃん、おばあちゃんとの交流

園の創立以来、先人達が積み重ねてこられた伝統を踏まえつつ、常に今保育園に求められていることと向き合い、これから何を積み上げ、何を变えていくべきかを職員と同じ価値観を共有しつつ、保育活動に取り組んでいきたいと思えます。  
また保育制度が変る中、認定子ども園への移行についても進めていきたいと考えています。



松村 喜子

施設の未来を拓く、施設長の思い展望





# いこま保育園

**創設年月日** 昭和29年6月1日

**所在地** 生駒市北新町2-11

**歴代施設長**  
辻村 泰圓 (昭和29年4月～)  
石井 寿子 (昭和29年9月～)  
中山 文夫 (昭和42年4月～)  
福田 安子 (平成7年4月～)  
大西 清司 (平成13年4月～)  
米田恵美子 (平成21年4月～)

**事業所**  
保育所：定員250名  
病後児保育室 (いちごの一む)

### 建物の変遷

1954年創設定員110名スタート  
1967年増築定員250名  
1986年現在の園舎に改築

### 職員数

正規職員：24名、契約職員：1名  
パート職員：20名



どろんこ遊び

### 職種

園長・保育士・管理栄養士  
調理師・看護師・事務員

### 地域支援事業

地域の子育て家庭への園庭開放、行事招待、施設開放 (コーラスグループへ)



生駒山登山



栽培活動



お花まつり

法人が創設され早い段階で開設されたいこま保育園は、児童福祉法による保育所として62年の間、保育にかける子どもたちの育ちを支えてきました。  
平成29年度からは、子ども子育て支援法の施行により、幼保連携型認定こども園として、就学前のすべての子どもの育ちを支えるべく、幼稚園機能をも備えた「こども園」へと移行します。さらに地域の子育て家庭すべての総合的な支援拠点としての一步を踏みだします。



米田恵美子

施設の未来を拓く、施設長の思い展望



歴史を繋ぐ

# いこま乳児保育園

**創設年月日** 昭和46年（1971年）4月1日

**所在地** 奈良県生駒市元町2-14-8

**歴代施設長**  
辻村 泰圓（昭和46年 4月～）  
新田 恵美（昭和46年10月～）  
宮本 和子（平成 7年 4月～）  
家治 圭子（平成18年 4月～）

**事業所** 保育所：定員75名

### 建物の変遷

昭和46年 いこま乳児保育園創設：定員60名  
平成26年 園舎老朽改築：定員75名

### 職員数

正規職員：17名  
契約職員：8名  
パート職員：12名

### 職種

園長・保育士・事務  
栄養士・調理師

### 地域支援事業

子育て支援拠点事業



自然の中で木の葉っぱや枝を使っのママごと遊び



おいしいね



お地藏さん前の階段上り



手づくり人形でおかあさんごっこ

人と人の信頼関係を形成する土台となる大切な時期が乳児期です。この乳児期に関わって保育しているのが私達。子どもひとりひとりの気持ちに寄り添い、温かい心でしっかりと受け止めてあげ、保護者や保育士も共に育つ思いで対応していきたいと思えます。

また、自然環境を大切にしながら、子どもにとって毎日が最善の日々を過ごせるように、保育士の力量を培い保護者にも育児に関することを発信しキャッチしてもらい、「乳児保育園に行きたい」と言われるような保育園を目指したいです。



家治 圭子

施設の未来を拓く、施設長の思い展望



歴史を繋ぐ

# あすかの保育園

**創設年月日** 昭和57年4月1日

**所在地** 生駒市あすか野南2丁目1-25

**歴代施設長**  
 岩間 昭子 (昭和57年4月～)  
 美甘 幸子 (平成13年4月～)  
 岩本登美子 (平成20年4月～)

**事業所** 保育所：定員90名

### 建物の変遷

昭和57年 4月 1日 保育所として認可 定員60名  
 平成 9年 4月 1日 定員60名から90名に増員に伴い、  
 1歳児クラスと厨房の増築

カマで刈ったほくたちのお米稲刈り  
たのしかったな！



こんなのあったよ!! はい、どうぞ!!



よしっ!! できたぞ!!

### 職員数

正規職員：16名、契約職員：2名、  
パート職員：10名

### 職種

園長・主任保育士・事務員・保育士  
保育補助・管理栄養士・調理師・調理補助

### 地域支援事業

園庭開放、中学2年生の職場体験  
奈良北高校生と交流



さんま おいしく焼けたかな



ひとつ大きくなった春桜のお花もお祝いしてくれてるね。

職員が働きやすい職場づくりに努め、人間の土台である乳幼児期の子どもの心と体を大切に育んでいきます。そのためにも子どものサインを見逃すことなく、『自分は愛されている』ということが実感できる場でありたいと思います。

それとともに、保護者から信頼される保育園づくりに努めていきます。



岩本登美子

施設の未来を拓く、施設長の思い展望



**創設年月日** 昭和52年4月1日

**所在地** 奈良市古市町1-2

**歴代施設長**  
辻村 泰範 (昭和52年4月～)  
小森美智子 (平成 2年4月～)  
福本 年美 (平成 7年4月～)  
岡本とも子 (平成13年4月～)

**事業所**  
児童発達支援センター仔鹿園：定員57名  
児童発達支援事業所 ばんび：定員10名  
仔鹿園相談支援事業所

**建物の変遷**

平成 7年 訓練棟増築  
平成14年 大規模修繕 (屋根防水工事)  
平成28年 厨房・トイレ等改修工事

**職員数**

正規職員：28名、契約職員：4名  
パート職員：10名

**職種**

園長・保育士・児童指導員・社会福祉士・栄養士  
調理員・事務員・運転手・相談員

**地域支援事業**

平成25年より相談支援事業を始めたことで子どもだけではなく障害種別を越えた相談を行っている。また、地域民生委員をはじめとして教職や保育士・保健師等の研修の場として提供をしている。

体をしっかり動かす遊び



夏：プール遊び



秋：落ち葉と遊ぶ



岡本とも子

施設の未来を拓く、施設長の思い展望

平成29年度、仔鹿園は40年を迎えます。切り分けた山あいの施設は育ってきた木々と共に40年の歴史を刻んできました。社会の情勢が変わる度に必死で守ってきた「療育」をこれからも心髓がぶれる事の無いように未来に向かって行きたいと思えます。その為にはしっかりとした施設の基盤が必要です。  
基盤は「人」だと思います。未来を拓くにはそれを支える人材の育成が不可欠だと思っています。

**創設年月日** 平成18年1月10日

**所在地** 奈良市古市町2-10

**歴代施設長**  
 岡本 とも子  
 (平成18年1月~)  
 為重 久雄  
 (平成19年4月~)  
 森山 貴司  
 (平成23年4月~)

**建物の変遷**

仔鹿園に間借りしています

**職員数**

正規職員：5名

**職種**

センター長・社会福祉士・  
臨床心理士

**地域支援事業**

ペアレントメンター事業  
地域支援マネージャー



であー自閉症啓発デー



シンポジウム



であー講演会



研修会

であーでは、発達障害で困っている当事者や家族の方々に対して相談支援や就労支援を行っています。年々相談や関係機関との連携が増加しており、対応するためにシステムの改善や工夫をしています。

今後相談員の増員や相談地域の拡大、支援の充実を図り、発達障害を抱える方々が社会に適應できるように支援していきます。



森山 貴司

施設の未来を拓く、施設長の思い展望



相談室

**創設年月日** 平成24年3月15日  
**所在地** 奈良市紀寺町580番地2  
**歴代施設長** 祖徠おさむ（平成24年3月～）  
**事業所** いっぽ：定員10名  
**職員数**

正規職員：4名、パート職員：4名

### 職種

施設長・保育士・事務職員

### 地域支援事業

親子教室  
アフターフォロークラス



元気よく！



乗り物体験



ならまち公園散策



いちご組集合

子どもたち、保護者の皆さんとともに  
 いっぽ。  
 平成24年4月に「いっぽ」を開設し5  
 年目を迎えました。この間集団・個別療  
 育を行うとともに子どもや保護者との関  
 わりを大切にしてきました。  
 今後とも子どもたちの笑顔を大切に  
 し、「もっとやりたいな」「ちよっと頑張っ  
 たらできたよ」という関心や達成感を持  
 つことができることも、保護者の皆さん  
 の様々な思いを受けとめ、いっぽ前に  
 進める療育を行っていきたくと考えてい  
 ます。



祖徠 おさむ

施設の未来を拓く、施設長の思い展望



創設年月日	平成16年4月1日
所在地	生駒市西旭ヶ丘12-3 (あずさ) 生駒市元町2-14-8 (あすなろ) 生駒市東新町1-3 (メディカル)
歴代施設長	西田 修二 (平成16年4月～) 大西 清司 (平成21年4月～)
事業所	こども支援センターあすなろ：定員20名 (児童発達支援センター) こども支援センターあすなろあずさ：定員28名 (児童発達支援センター) こども支援センターあすなろメディカル：定員20名 (児童発達支援事業) 生活支援センターあすなろ (指定・特定、障害児相談支援事業)

### 建物の変遷

平成16年4月	愛染寮集会所あすなろ館を改修して開所
平成17年4月	生駒市もやい館3Fを新たに追加してサービス開始
平成18年4月	生駒市メディカルセンター4Fでサービス開始。
平成21年4月	旧生駒総合病院看護師寮あずさを改修して、1Fに「あすなろあずさ」を開始。もやい館閉鎖。
平成25年4月	旧いこま乳児院の耐震補強と改修をした後、愛染寮あすなろ館から「あすなろ」を移転。

### 職員数

正規職員：19名、契約職員：6名、パート17名

### 職種

センター長・保育士・指導員・相談支援専門員  
発達相談員・看護師・事務職

### 地域支援事業

- ・保育園、幼稚園等施設支援
- ・さくらんぼひろば (在宅の医療ケアが必要な重症心身障害児の教室)
- ・どならない子育て練習法 (ペアレンティング)
- ・オープンスペース

あすなろ10周年記念式典の様子



こども支援センターあすなろ



メディカル内観



あずさ内観

子ども達の「明るい未来」、その礎を築く、小さな一歩をしっかりと支えて行きたいと思えます。  
あすなろに集うこどもたちの、こころ豊かな幸せな人生を願います。今を大切に生きる事が、未来を拓くことになるような気がします。夢や希望を持ち続けることができる人であり、社会であってほしいと思います。  
あすなろの精神はさほど大きく変わることもないでしょう。淡々と子ども達の成長を見守り支え、保護者の疲れを少しでも癒すことができれば...



大西 清司

### 施設の未来を拓く、施設長の思い展望



こども支援センターあすなろ あずさ1F

# 平城児童センター

**創設年月日** 昭和55年4月1日  
**所在地** 奈良市歌姫町1100番地

**歴代施設長**  
今西 宏 (昭和55年4月～)  
高田 裕之 (昭和55年9月～)  
大西 清司 (平成 3年4月～)  
伊豫 正展 (平成13年4月～)  
徂徠おさむ (平成22年4月～)

**職員数**  
正規職員：1名、パート職員：3名

**職種**  
センター長・児童厚生員・環境整備員

**地域支援事業**  
地元自治会への施設、設備の提供  
近隣耕作者に対する駐車場の提供



親子でマーブリング



秋のセンター



前に進め！大玉ころがし

子どもの頃に豊かな体験を！  
子どもたちが自然の中で遊ぶことや、  
社会体験などの機会が減少しています。  
子どもたちの健やかな成長には、自然  
の中での様々な遊びや体験活動が必要と  
考え、キャンプや稲刈りなど数多くの活  
動を行っています。  
今一度、センター建設当時の先人の知  
恵と苦労に思いをはせ「いろいろと遊ん  
で友だちも増えて楽しかった。」と実感  
でき、笑顔あふれる「こどもの城」づく  
りに努力していきたいと考えています。



徂徠 おさむ

施設の未来を拓く、施設長の思い展望





# 特別養護老人ホーム 梅寿荘

創設年月日	昭和47年8月3日（特養老人ホーム） 平成15年4月1日（養護老人ホーム）	
所在地	生駒市門前町8-7	
歴代施設長	特養老人ホーム 辻村 泰圓（昭和47年8月～） 辻村 泰範（昭和53年6月～） 高田 裕之（平成13年4月～） 辻村 泰範（再任、平成17年4月～）	
	養護老人ホーム 高田 裕之（平成15年4月～） 辻村 泰範（平成17年4月～） 松岡 利和（平成25年5月～）	
	事業所	短期入所生活介護 梅寿荘：空床利用型 養護老人ホーム 梅寿荘：定員20名
	建物の変遷	昭和47年元町に創設 平成15年4月生駒山荘跡地に新築移転
	職員数	正規職員：40名、契約職員：14名、パート職員：40名
職種	施設長・介護職員・看護職員・栄養士・調理師 事務員・介護支援専門員・生活相談員	



敬老会



夏祭り

高齢者施設の中では法人最初の施設として、常に先駆的な存在であったように思います。「困った時の梅寿荘」という役割を担ってきた歴史があります。先人の方たちから引き継がれる理念を守り、高齢者のケアに関することも、その他諸々のことでも、頼りになる施設、宝山寺福祉事業団という大樹の幹で在り続けたいと思います。



特養施設長  
辻村 泰範

施設の未来を拓く、施設長の思い展望

県内で最新の、同時に生駒市で唯一の養護老人ホームです。高齢者については介護問題一色の中、見落とされがちな福祉的課題に対応する施設です。ひとにぎりの方たちのための、しかし不可欠な受け皿として生駒全域の高齢者福祉を担っていきたく思います。



養護施設長  
松岡 利和

施設の未来を拓く、施設長の思い展望



# 老人総合施設 あくなみ苑

創設年月日

平成9年4月1日

所在地

奈良県生駒郡安堵町大字岡崎33-1

歴代施設長

あくなみ苑 特養  
 福田 周司 (平成8年12月～)  
 山中 弘司 (平成11年4月～)  
 赤井 正道 (平成12年4月～)  
 高田 裕之 (平成17年4月～)

ケアハウスあくなみ苑  
 福田 周司 (平成8年12月～)  
 山中 弘司 (平成11年4月～)  
 赤井 正道 (平成12年4月～)  
 高田 裕之 (平成17年4月～)  
 田中 将史 (平成26年4月～)

買い物ツアー



苑外散策で海遊館へ



事業所

あくなみ苑デイサービスセンター：定員18名  
 あくなみ苑居宅介護支援センター  
 ケアハウスあくなみ苑：定員15名  
 ショートステイあくなみ苑：定員20名  
 特別養護老人ホームあくなみ苑：定員50名

一致団結・夏祭り



施設の未来を拓く、施設長の思い展望



特養施設長 高田 裕之

「どんよりとした高齢者福祉に喝を入れるべく、苑長が先頭を切ります。人材不足に喝、労働強化に喝、やる気が失せる職場環境に喝。さてどうする。口ポットでしよう、時間短縮でしよう、賃金上昇でしよう。みんな全部まとめてやりましょう。できるんです、やる気と根気があれば。僕には若干の知恵があります。総身にはまわりかねませんが。」

しかし、若い知識を持って有り余る職員の方々が「せえのー」の僕の一声で前へ前へと前進する事必至。あくなみを取り巻く困難極まる環境の中で、二年できつくと大輪の花が咲くことでしょう。

職員数

正規職員：36名、契約職員：7名、パート職員：29名

職種

介護士・看護師・機能訓練指導員・生活相談員  
 事務員・管理栄養士(兼務)・センター長(兼務)  
 ケアマネージャー・次長(兼務)・苑長(兼務)  
 施設長(兼務)・苑長(兼務)・次長(兼務)・宿直要員  
 ランドリー担当職員・清掃員・施設ケアマネ(兼務)

地域支援事業

- あくなみ苑デイサービスセンター  
施設所在地である、安堵町を中心に斑鳩町・大和郡山市・河合町・川西町・三郷町の方々に、入浴サービスや様々なアクティビティを提供しています。
- あくなみ苑居宅介護支援センター  
施設所在地である、安堵町を中心に地域住民の中で介護等が必要な方々にケアプランの作成、行政への申請代行等を行っています。又、地域包括支援センターと協力して、認知症の啓発活動等にも取り組んでいます。
- ケアハウスあくなみ苑  
入居者の収入に応じて、無償または、低額な費用で、入所者の身の周りの支援をさせていただきます。
- ショートステイあくなみ苑  
1泊2日から、長い人で数カ月にもわたって、一時的に施設入所していただきその方に必要な介護を提供しています。
- 特別養護老人ホームあくなみ苑  
入居者が安心、安全に暮らせるよう、ケアプランに応じたサービスを提供しています。又、地域包括支援センターと協力して、地域の生活困窮者の支援も行っています。



ケアハウス デイサービスセンター 施設長 田中 将史

「考え方自体が揺らぎつつあります。年金はもろの事、医療・介護の分野では報酬改定の度に大幅に報酬単価は下げられ、利用者負担は上がる一方です。現行の制度や社会情勢を考えると満足にサービスをしたいくても使えない利用者が増えることが予想され、またニーズが多様化している中で、制度の狭間を困っている方がおられる事も現実にあります。しかし、その様な方はいつの時代にもおられ、社会福祉法人が運営している施設として、地域住民のニーズを的確に把握し、法や制度にとらわれず、一人でも多くの困っている方々の手助けができればと思っています。」

但し、そこには悲しい事ですが、想いや志だけでは、上手くいかなくなってきたり、どうしても財源という色眼鏡を通して物事を考えていかなければなりません。施設を運営していくにあたっては、非常に難しい時代になっていきますが、あきらめずに社会福祉法人の存在意義をもう一度見つめ直し、社会福祉法人だからこそできる事、求められる事がきつとあるはずだと思っています。

法人設立70周年、おめでとうございます。  
 あくなみ苑も三室園組合の委託を受けて運営することになって16年が経ちました。そして今年度より委託から指定管理に移行して、新たな門出を迎えました。今の日本では社会保障という

# 梅寿荘デイセンター

**創設年月日** 平成2年6月1日

**所在地** 生駒市元町2丁目14-8

**歴代施設長**

辻村 泰範 (平成2年 6月～)  
 滝元 弘武 (平成3年 4月～)  
 井上 太 (平成11年4月～)  
 山下 安久 (平成13年4月～)  
 田中 聡 (平成18年4月～)  
 森本 公子 (平成21年4月～)

**事業所** 通常型通所介護事業所：定員35名

**建物の変遷**

昭和63年4月 旧梅寿荘内にて地域のニーズに応え、在宅老人機能回復訓練ミニデイサービスを開始する。

平成 2年6月 法人本部、愛染寮の男子棟として桃李館が整備され、その1階部分に当時は珍しい子どもたちの施設と老人の施設が同居するという画期的なデイセンターとして梅寿荘から移管されました

平成28年7月 経年劣化により屋根の葺き替え、外壁の全面塗装、玄関庇を取り換える改修工事を行いました。

きれいな紫陽花を見ながら足腰を鍛えています。



夏まつり「見事に命中！」



かわいい笑顔に癒されます

**職員数**

正規職員：6名、契約職員：4名  
 パート職員：19名

**職種**

センター長・介護職員・生活相談員・看護師  
 調理師・事務職員・管理者  
 機能訓練指導員（理学療法士、作業療法士）

**地域支援事業**

ひめゆりジム・ひめゆり講座開催

「アロハ！」敬老会にて



今、またデイサービスセンターは更に  
 厳しい大きな変革期を迎えようとしています。だからこそ本来のデイセンターが  
 担う役割、その基本をしっかり踏まえ横  
 道にそれることなく、しかし制度の枠に  
 はまらず柔軟な対応をしていく事（今で  
 もかなり柔軟ですが）在宅生活を支える  
 要として、医療的ケアの向上はもちろん  
 のこと、私達の持っているノウハウを遺  
 憾なく発揮し、あらゆるニーズに対応し  
 ていくことで地域連携の拠点となること  
 ができるよう貢献していきたい！



森本 公子

施設の未来を拓く、施設長の思い展望



# デイセンター憩の家

創設年月日 平成8年4月1日

所在地 生駒市元町2丁目8-46

歴代施設長

滝元 弘武 (平成8年4月～)  
 井上 太 (平成11年4月～)  
 山下 安久 (平成13年4月～)  
 田中 聡 (平成18年4月～)  
 森本 公子 (平成21年4月～)

事業所 地域密着認知症対応型  
通所介護事業所：定員12名

### 建物の変遷

桃李館にある梅寿荘デイセンターへの利用ニーズが高まり平成8年4月、生駒市老人憩の家を改装しデイセンター憩の家（認知症デイE型）を創設（指定管理者制度）。平成25年、指定管理者制度から使用貸借契約となり現在に至る。

### 職員数

正規職員：2名、契約職員：1名  
パート職員：9名

### 職種

センター長・介護職員・生活相談員・看護師  
機能訓練指導員・調理師・事務員・管理者

### 地域支援事業

ひめゆりジム・ひめゆり講座開催



辻村泰範理事長による墨書きの看板の下で



きのこがいっぱいとれたよ



桜満開 笑顔満開！



夏の日のおでかけ



森本 公子

施設の未来を拓く、施設長の思い展望

自然豊かな森の中、また地域の皆さんと触れ合う機会が多くある、環境に恵まれたデイセンター憩の家です。

認知症専門のデイセンターとして、これからも専門知識や介護技術をより深く追求し、介護者家族の負担の軽減に努めることも同じ建物内にある地域支援室と連携し、今までもこれからも人々がたくさん集い悩みや楽しさを分かち合える名前のとおり憩える場所であり続けたい。

# デイセンター寿楽

**創設年月日** 平成11年3月1日

**所在地** 生駒市有里町95-2

**歴代施設長**  
山下 安久 (平成11年3月～)  
三家 京子 (平成18年4月～)  
伊藤 智宣 (平成25年4月～)

**事業所** 通所介護事業所：定員32名

### 建物の変遷

生駒市南公民館を生駒市が改築し、法人が委託運営する。平成18年度より、指定管理者制度に変更になり、現在に至る。

### 職員数

正規職員：7名、契約職員：1名  
パート職員：17名

### 職種

センター長・介護職員・看護職員  
生活相談員・機能訓練指導員  
調理員・事務員



今年から近くにある保育園との交流を始めました。



ホール



狭いホールですが、こんなこともしています。



今年で10回目の秋祭り。地域の方との交流を深めています。



小グループでの体操



伊藤 智宣

施設の未来を拓く、施設長の思い展望

人生の最終ステージになったとしても、華やかで、その人らしく生活できるように支援をする中で、地域との関わりを深め、なくてはならない事業所になればと思う。  
その為にも、職員一人ひとりが、イキイキと活躍できる事業所でありたい。そして、愛染寮のように何十年、人と笑い声が絶えない事業所でありたい。



# 梅寿荘居宅介護支援センター

**創設年月日** 平成12年4月1日

**所在地** 生駒市元町2丁目14-8

**歴代施設長**  
辻村 泰範 (平成12年4月～)  
堂園 禮子 (平成22年4月～)  
斉藤 洋子 (平成26年4月～)

### 建物の変遷

平成 2年5月 桃李館創設

平成21年4月 総合支援センターあずさにサテライト設置

平成28年7月 桃李館リニューアル工事  
(外壁・屋根・庇)

### 職員数

正規職員：2名、契約職員：5名、  
パート職員：4名

### 職種

センター長・事務員・主任介護支援専門員  
介護支援専門員（ケアマネージャー）

### 地域支援事業

ひめゆり講座定期開催



利用者宅定期訪問



摂食嚥下障害の研修



週1回ケアマネ会議

「住み慣れた自宅であなたらしく生きよう」を理念に利用者、家族に寄り添ってきました。今後も、個々の複雑な問題、多様なニーズを明確にし、解決に向けて取り組んでいきます。

その為に、職員一人ひとりが自己研鑽に努め、情報の共有・連携を図り、事業所全体のレベルアップを行い、地域の皆さんの頼れるケアマネ事業所を目指して行きたいと思えます。



斉藤 洋子

施設の未来を拓く、施設長の思い展望



# 梅寿荘在宅介護支援センター

**創設年月日** 平成3年2月1日

**所在地** 生駒市元町2丁目14-8

**歴代施設長** 滝元 弘武 (平成 3年4月～)  
辻村 泰範 (平成12年4月～)

**事業所** ヘルパー養成講座  
憩の家地域支援室

**建物の変遷**

平成 2年5月 創設桃李館に設置  
平成25年5月 憩の家に地域支援室を設置  
平成28年7月 桃李館リニューアル工事  
(外壁・屋根・庇)

### 職員数

正規職員：5名、パート職員：5名

### 職種

センター長・室長・事務員・相談員・介護職  
介護予防トレーナー・理学療法士・作業療法士

### 地域支援事業

サロンの開催・ひめゆりジム  
ひめゆり講座開催

憩の家地域支援室に小さな訪問者



サロン想「彫金作り」



地域支援事業「ひめゆりジム」



初任者研修終了式



辻村 泰範

施設の未来を拓く、施設長の思い展望



平成2年度スタートした在宅介護支援センターも大きく変化しました。「地域を知り」「地域に知ってもらう」安心と信頼の中で地域と繋がりが、生きがい作りや、生活支援を行います。思いやる心を持ち、情報の提供、様々な方と連携を図る。災害時の対応をはじめとして、一人暮らしや高齢者のみの不安、認知症本人や家族が孤立することができるよう、地域の方に最も身近な場所として在宅介護支援センターは進めていきます。

(三家 京子)

# 生駒市梅寿荘地域包括支援センター

**創設年月日** 平成18年4月1日

**所在地** 生駒市西旭ヶ丘12-3

**歴代施設長** 岩井香奈子（平成18年4月～）

**建物の変遷**

平成18年4月 梅寿荘1Fで開設。

平成21年4月 総合支援センターあずさ創設により移転。

**職員数**

正規職員：8名、パート職員：1名

**職種**

センター長・介護支援専門員・看護師・  
社会福祉士・事務員

**地域支援事業**

- ・総合支援センターあずさ交流ールで実施している認知症カフェ「ちょボラカフェあずさ」の支援を行っています。

ちょボラカフェあずさクリスマス会



介護予防教室風景



相談風景



生駒市南地区ケアマネ研修会

今後地域包括支援センターが地域包括ケアシステムの枠組みの中でどのような立ち位置を確立していくのか、大事なことで気にかかるところです。

しかし、地域にとってなくてはならない存在になるために、何を大切に思い、どう行動に移すべきか自問自答しながら前に進んで行くことが重要で、未来を拓くことに繋がると信じています。



岩井香奈子

施設の未来を拓く、施設長の思い展望





**創設年月日** 平成15年4月1日

**所在地** 生駒市小瀬町1100

**歴代施設長**  
 特別養護老人ホーム延寿  
 辻村 泰範 (平成13年4月～)  
 井上 太 (平成17年4月～)

**事業所**  
 居宅介護支援事業所 (居宅介護支援センター)  
 特別養護老人ホーム・短期入所：16名  
 特別養護老人ホーム延寿：定員84名  
 通所介護事業所：定員45名 (デイセンター延寿)  
 軽費老人ホーム：定員30名 (ケアハウス延寿)  
 訪問介護事業所 (はあとぼーと延寿)

**建物の変遷**

平成12年 着工  
 平成13年4月10日 落成法要、11日竣工式  
 平成13年5月1日 デイ初利用者来所 (デイセンター延寿)  
 初入所 (ケアハウス延寿)  
 平成15年4月1日 居宅介護支援センター延寿 開設  
 平成15年 四人部屋居室4室を障子の間仕切りに改修 (特別養護老人ホーム延寿)  
 平成27年 補助金を受けて四人部屋居室残り (17室) を障子の間仕切りに改修 (特別養護老人ホーム延寿)

**職員数**

正規職員：70名、契約職員：8名、パート職員：60名

**職種**

施設長・介護職員・事務職員・主任介護支援専門員  
 介護支援専門員・管理者・看護職員・栄養士・調理師  
 生活相談員・ヘルパー・機能訓練指導員

**地域支援事業**

デイセンター延寿 配食サービス・地域支援総合事業 (パワーアップ教室、緩和型Aデイサービス)  
 やすらぎの杜 延寿 成14年8月11日夏祭り (南山手台自治会招待、翌年から合同開催)。現在は南山手台自治会単独開催、相互に招待し合う。平成23年、10周年から地域清掃 (周辺2キロ四方3か月に1回)

お正月元旦のニコマ (お屠蘇でお祝い)



夏祭りの風景



足湯でほっこり



施設内研修  
 シーティング研修

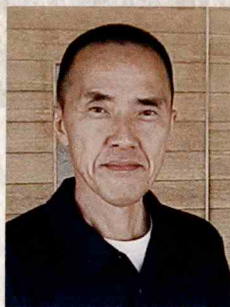


新年のお迎えの準備も出来ました。

敬老会のニコマ



滝寺  
 お花まつりのニコマ



井上 太

施設の未来を拓く、施設長の思い展覧

福祉の仕事はご本人、家族様はもちろんすべての関係者との信頼関係を築くことが最も重要なことである。また気働き、心配りが対人援助職の原点だとも思っています。

延寿では開設以来すべての事業所において「手間隙惜しまず丁寧に」をモットーに様々なことに取り組んでいます。居宅支援事業所においても同様に懇切丁寧に対応することを心掛け、どの様なことでも、どんな些細なことだと思われる事でも気軽に一言お声掛け頂けるケアマネを目指します。

# 愛染寮の子どもたち「10年後の私」にひとこと

## 10年後のぼくに一言!

こぼと

奈良高校でバスケットボール部で活躍している人

スタート

おおきくなつていすかゆうま

なにかおきていますか

元気ですか

元気ですか?

ぼくは人気No.1ですかのあ

2026

ぼくを自分になっているかな?

## 10年後の自分に一言!

わわわわ

結婚している

サッカー選手になっている

元気ですか?

ファイト

えつぱおすになっている

うんどうがんばってる

元気ですか?

自分

## 10年後のぼくに一言!

こまどろ

バス部で活躍している

10年後私は...年商10億!!

頑張ってますか?

かんぱね

病気があつたか? 元気ですか?

足下見よう。

あずさホーム

## 10年後の私にひとこと

あずさホーム

人の役に立つまでたつてね。

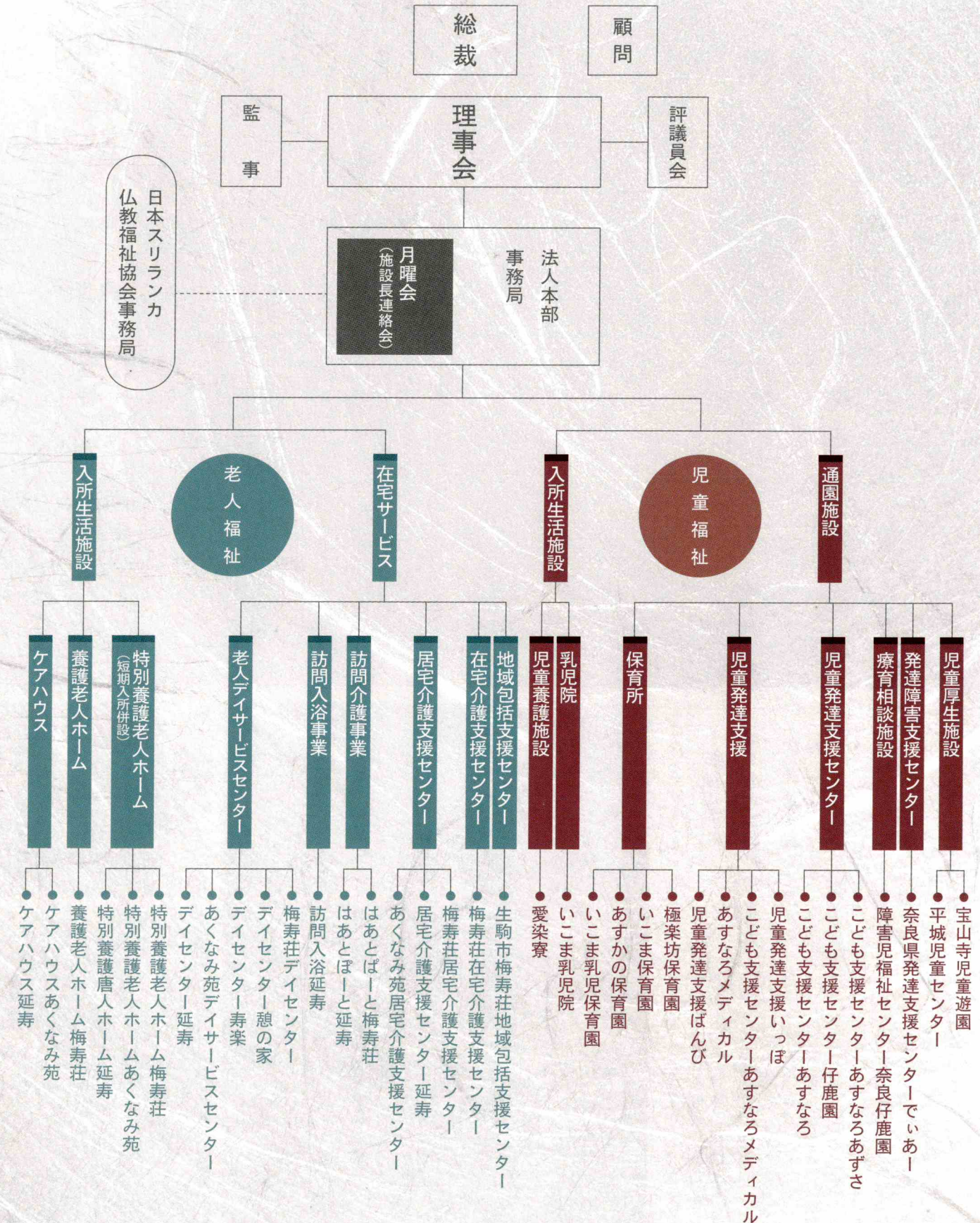
10年後は億万長者!!

イラストレーターか漫画家になりたいです!!

自分だけのことせいでいいからがんばって下さい。

こうこうかかつとハンカチをかんでね

# 法人概要図



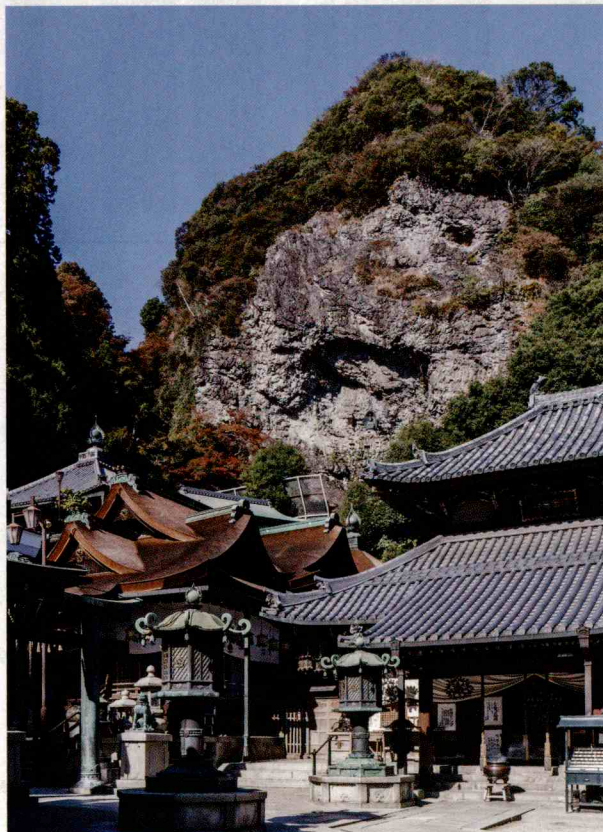
# 理事長が 密教教化賞を受賞

去る10月6日、京都泉涌寺で開催された第48回密教教化賞授賞式において当法人理事長辻村泰範師が5人の受賞者の一人として密教教化賞の榮譽に浴されました。この賞は布教や社会福祉活動などで功績のあった方に贈られるもので、真言宗で最も権威のある賞だとされています。

真言宗各派総大本山会に属する十八の宗派本山から候補者が推薦され総本山会での審議を経て受賞者が決定されます。

今年度は、善通寺、長谷寺、金剛峯寺、智積院の各総本山から管長を始め錚々たる方々が推薦され受賞されましたが総本山西大寺から推薦された辻村理事長はこれまでの社会福祉や幅広い社会活動が認められて受賞されました。

真言律宗からは、昭和49年久修園院住職高島真雄大僧正、平成21年浄瑠璃寺住職佐伯快勝大僧正に続く三人目の榮譽です。宝山寺福祉事業団創設70周年に華を添える嬉しいニュースとなりました。



宝山寺

滝寺の滝

## 編集後記

「法人の古稀(希)から学ぶ」

創立70周年は人で例えるなら古稀(希)ということになります。杜甫の曲江詩の「人生70古来稀なり」によるところですが、現在では70歳は珍しくもなく、どちらかというととまだまだ元気澀刺ないイメージがあります。ただし、法人の70年の月日や歴史の重み・深みは、先人の汗と知恵を源にして為

し得た人間力の賜物です。お金に頼らず、他人に頼らず、己の馬力と知恵とで切り拓く、エネルギーがみなぎっていた時代のように聞いています。

今の世、便利になり過ぎて、本当に大切なものを見失っているような気がします。昔の人は、本当に大切な事を今の人達に伝えなければいけません。それでこそ、昔の人は偉かった。と言う事なのですから。

(大)